

2005年度第3四半期 決算公表参考資料

2006年1月31日

三菱商事株式会社

(億円)	2004年度 第3四半期累計	2005年度 第3四半期累計	増減	増加率	2005年度通期見通し	達成率
売上高	125,494	139,294	13,800	11%	180,000	77%
売上総利益	6,417	7,727	1,310	20%	10,500	74%
営業利益	1,591	2,558	967	61%	3,400	75%
連結純利益	1,226	2,800	1,574	128%	3,400	82%
基礎収益	2,653	3,889	1,236	47%	4,950	79%

過去のトラックレコード
(第3四半期累計ベース)

四半期決算を開始した
2000年度以降が比較対象

- 売上高・・・過去最高
(従来最高は前年同期 12.5兆円)
- 売上総利益・・・過去最高益
(従来最高益は前年同期 6,417億円)
- 営業利益・・・過去最高益
(従来最高益は前年同期 1,591億円)
- 連結純利益・・・過去最高益
(従来最高益は前年同期 1,226億円)
- 基礎収益・・・過去最高益
(従来最高益は前年同期 2,653億円)

主要PL項目の前年同期比増減(3ヶ月)

(億円)	2004年度第3四半期 (2004年10月～12月)	2005年度第3四半期 (2005年10月～12月)	増減	増加率
売上高	43,593	49,157	5,564	13%
総利益	2,212	2,689	① 477	22%
営業利益	610	917	② 307	50%
連結純利益	326	1,017	③ 691	212%
基礎収益	988	1,404	④ 416	42%

①

(総利益の前年同期比増減)

原料炭価格及び原油価格の上昇により資源開発子会社の総利益が増加。加えて海外自動車関連事業の取引利益増もあり、前年同期比477億円(22%)の増益となった。

②

(営業利益の前年同期比増減)

総利益の増加があったが、新規連結により総利益見合いに販売費および一般管理費(172億円負担増)も増加した。この結果、営業利益は前年同期比307億円(50%)の増益となった。

③

(連結純利益の前年同期比増減)

営業利益(307億円増加)や受取配当金(85億円増加)の増加に加え、前年度第3四半期に計上したR-ソウ宛出資の減損処理(税引き後 321億円)の反動増により前年同期比691億円(212%)の増益となった。
連結純利益は1,017億円となり第2四半期に続き1,000億円の大台を超え、3ヶ月ベースの最高益を更新。

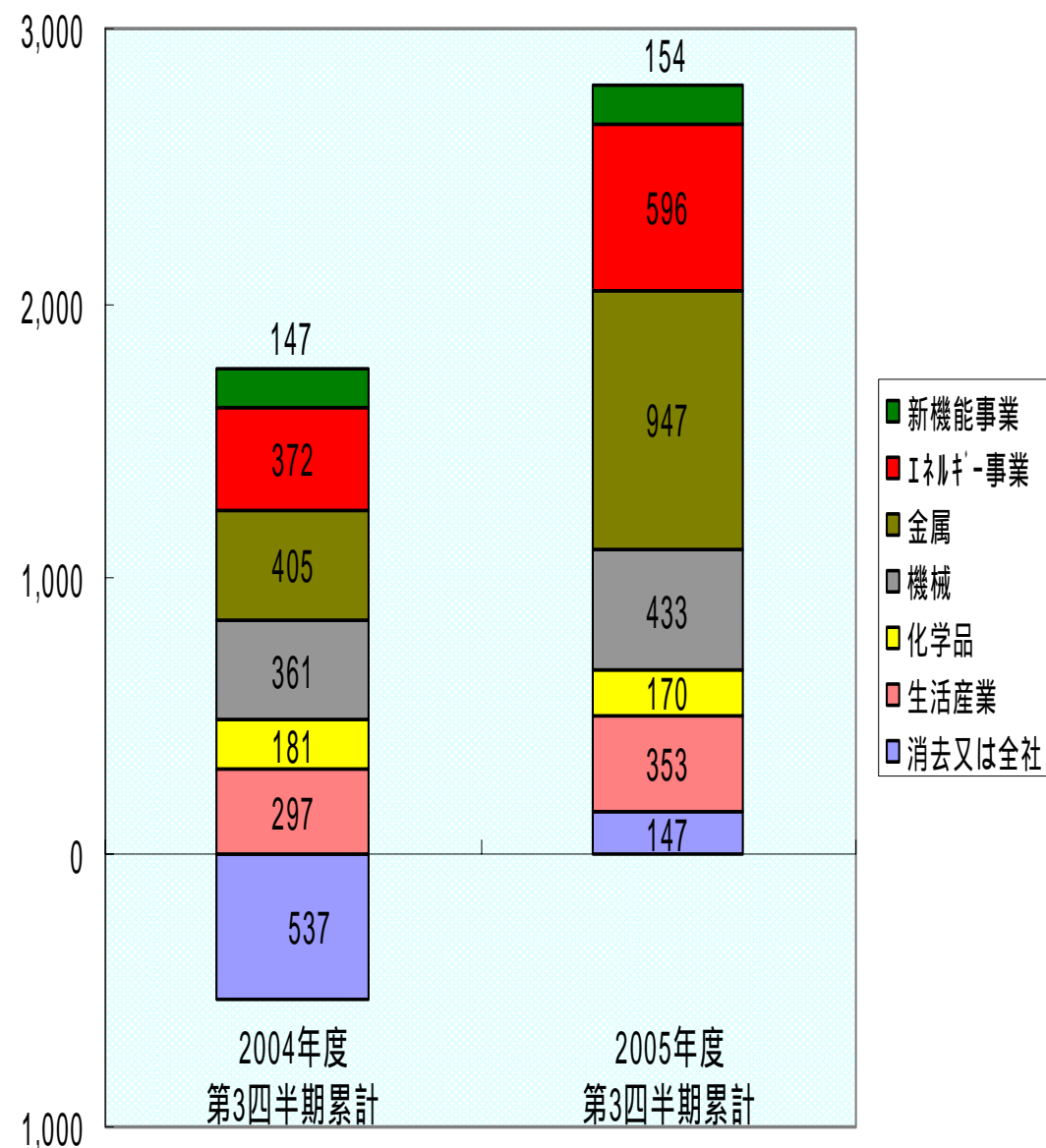
④

(基礎収益の前年同期比増減)

資源関連を中心に総利益、受取配当金が増加したことから、基礎収益は前年同期比416億円(42%)の増加となった。

セグメント別連結純利益の前年同期比増減

(億円)



セグメント別増減理由

新機能事業(5%増益)・・・金融子会社の持分利益の増加

エネルギー事業(60%増益)・・・資源関連投資先の配当及び持分利益増加

金属(134%増益)・・・資源関連投資先の持分利益の増加

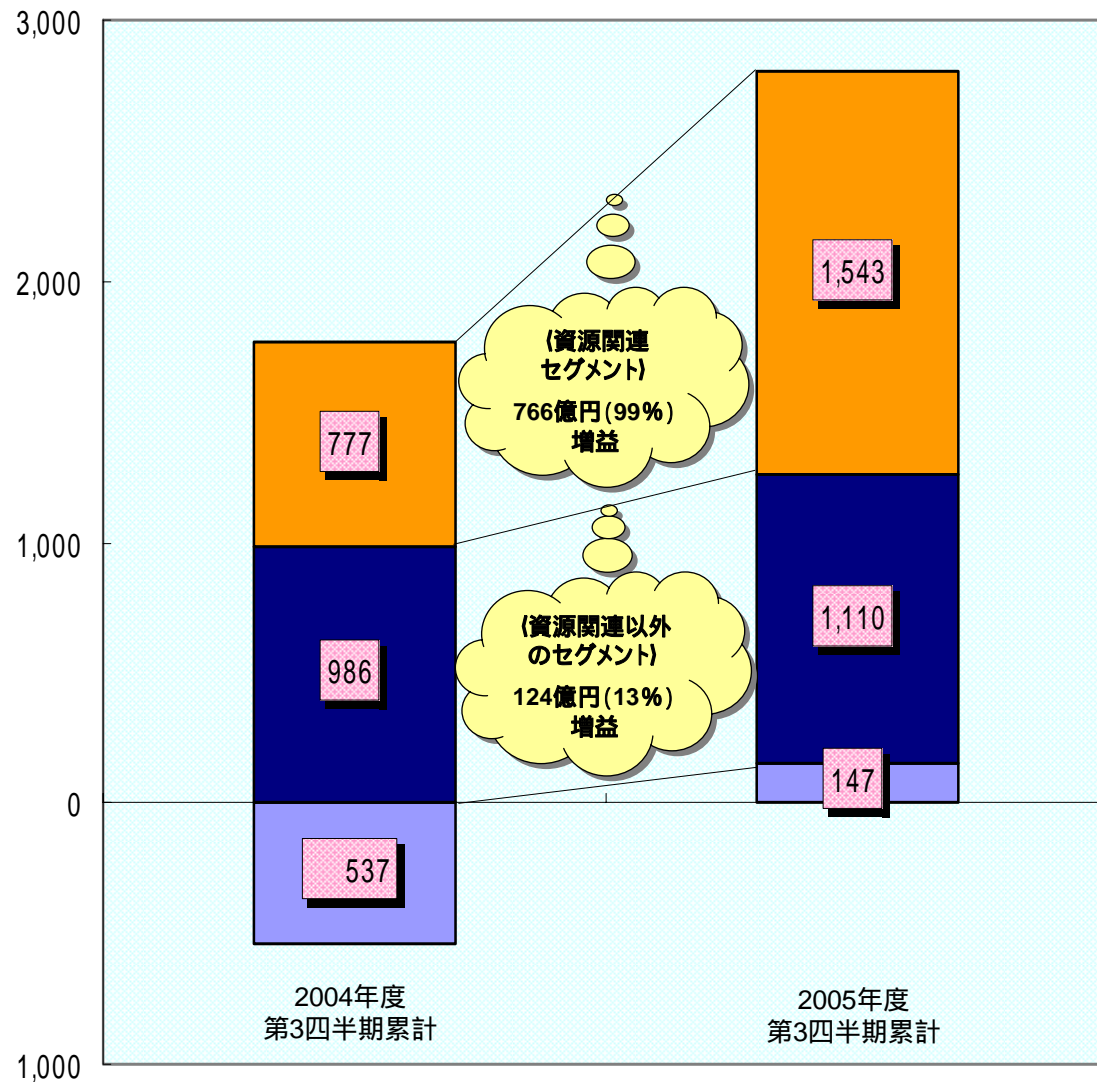
機械(20%増益)・・・不動産関連、船舶関連ビジネスの好調及び株式売却益の増加

化学品(6%減益)・・・海外化学品関連会社の持分利益減少

生活産業(19%増益)・・・ローソン移管の影響と食料関連子会社・資材関連会社の業績堅調

消去又は全社・・・前年度ローソン及び三菱自動車株式減損処理の反動

(億円)



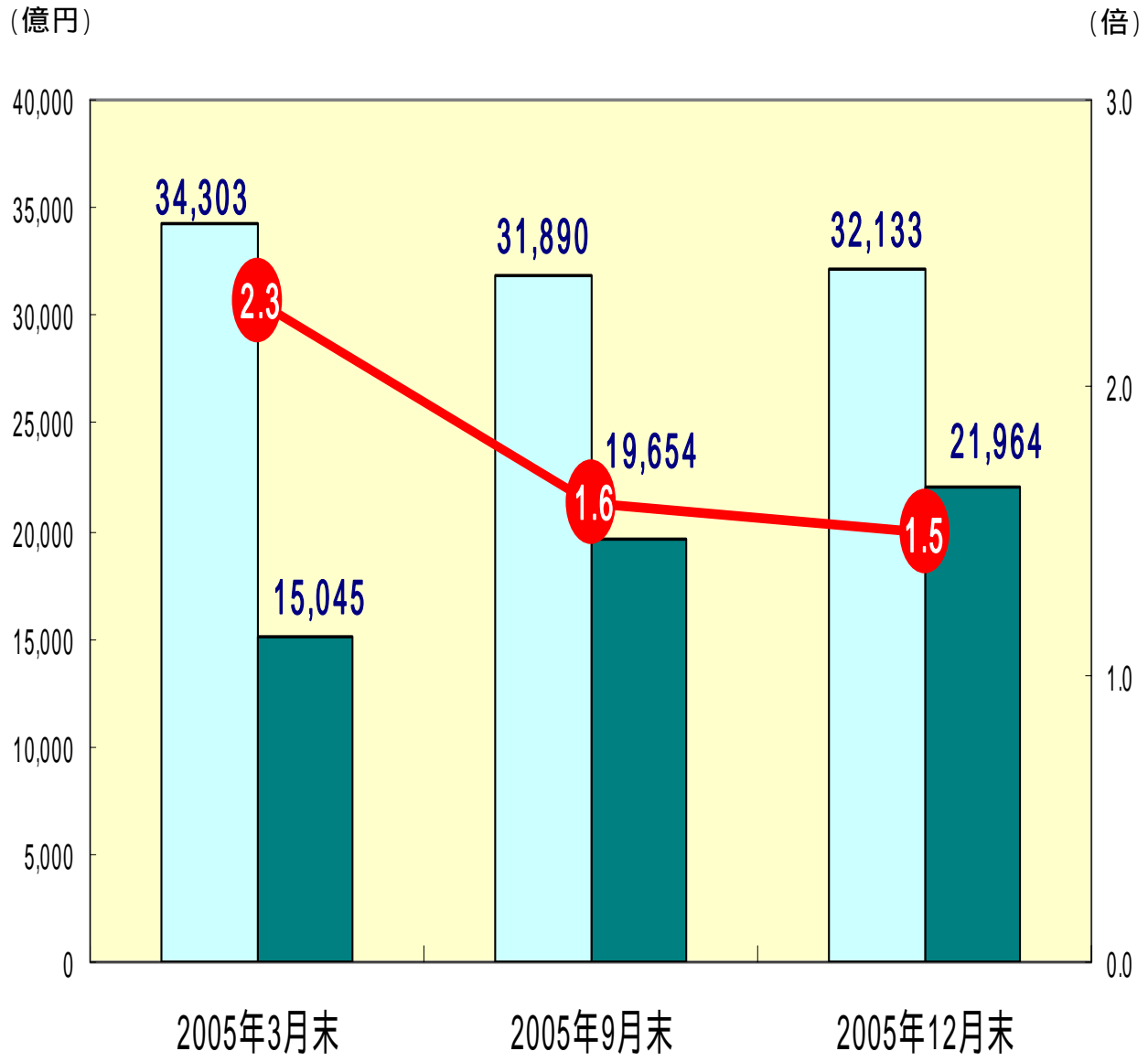
■ 消去又は全社 ■ 新機能事業・機械・化学品・生活産業 ■ エネルギー事業・金属

資源価格の推移(9ヶ月平均)

	2004年度 第3四半期	2005年度 第3四半期	増減	通期見通し の前提*
油価(トライブ) (\$/BBL)	35.0	52.0	17.0	48.0
銅地金 (\$/MT)	2,911	3,816	905	3,086
アルミニウム地金 (\$/MT)	1,738	1,898	160	1,800
原料炭 (\$/MT)	56.5	125.0	68.5	125.0

*通期見通し策定時に使用した下期の市況価格前提

株主資本と有利子負債の増減



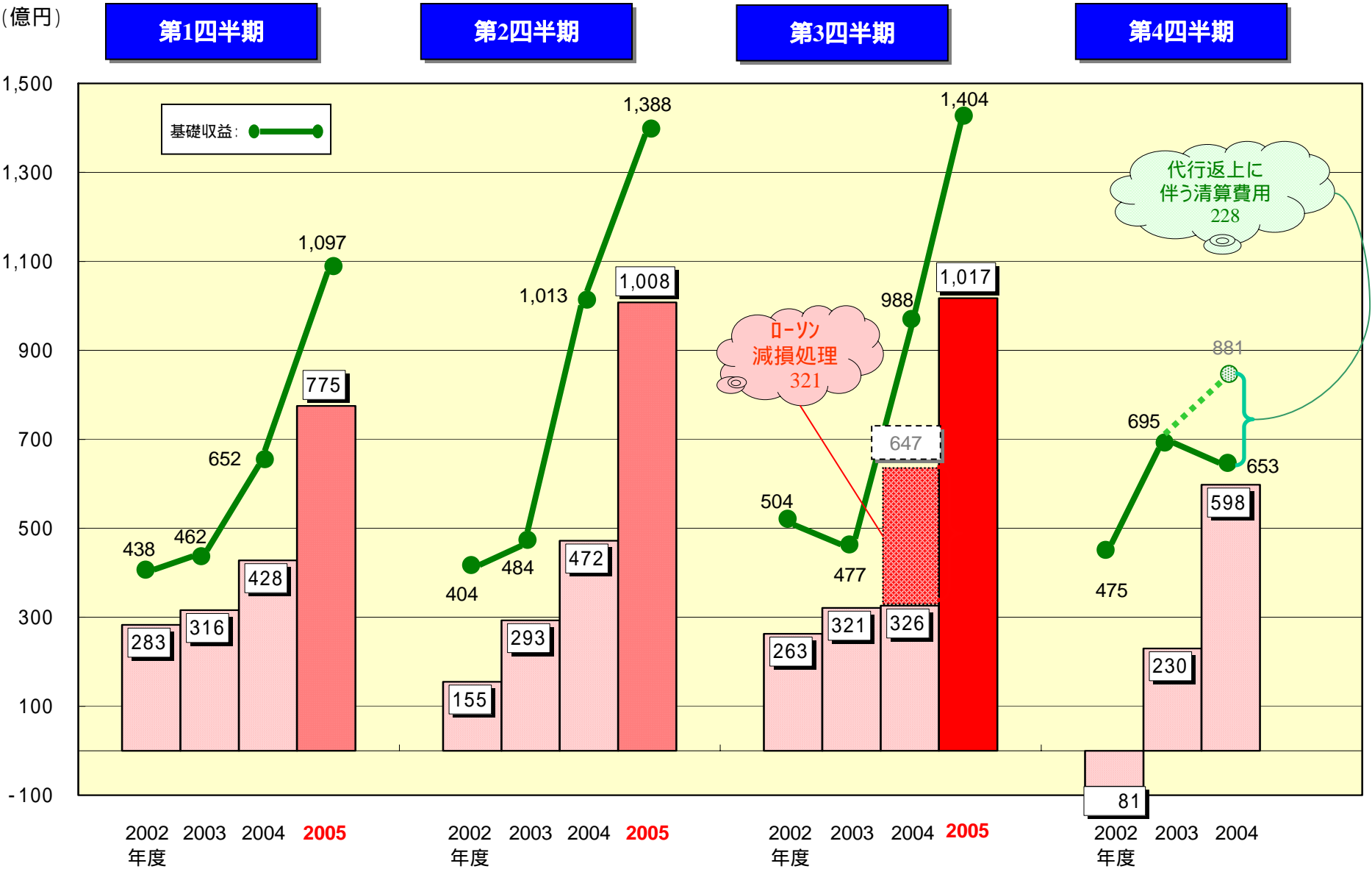
□ 有利子負債 (NET) □ 株主資本 ● 有利子負債倍率 (NET)

株主資本の主な増加要因 (2005年3月末比)

- 利益剰余金の増加 (2,395億円)
…… 当期純利益の積上がりによる影響
- 未実現有価証券評価益の増加 (2,368億円)
…… 株価上昇による保有上場株式の含み益の増加
- 資本金・資本剰余金の増加 (1,397億円)
…… 転換社債の転換による影響
- 為替換算調整勘定の改善 (820億円)
…… 対US\$, 豪\$での円安の影響

四半期毎 連結純利益・基礎収益の推移

(億円)



* 以下の事項により、既に公表した過去の数字をリステートしています。

2004年度における株式の追加取得により新たに持分法適用対象となった関連会社について、過年度に遡及して持分法を適用「関連会社に対する投資」にかかる税効果を「法人税等」に含めて表示

● 相場変動リスク

原油

原料炭、鉄鉱石、銅、アルミ

為替変動

株価変動

● 特定案件へのリスク集中

三菱自動車及びその関連事業

(2005年度第3四半期末 リスクエクスポージャー 3,700億円*)

*1月末払い込みの優先株を加えると4,000億円

サハリンLNG事業

(2005年度第3四半期末 リスクエクスポージャー 2,100億円)

● 事業投資リスク

投資判断時の見込み違い

● 世界マクロ経済環境の変化によるリスク

中国経済

タイ・インドネシア経済

米国経済